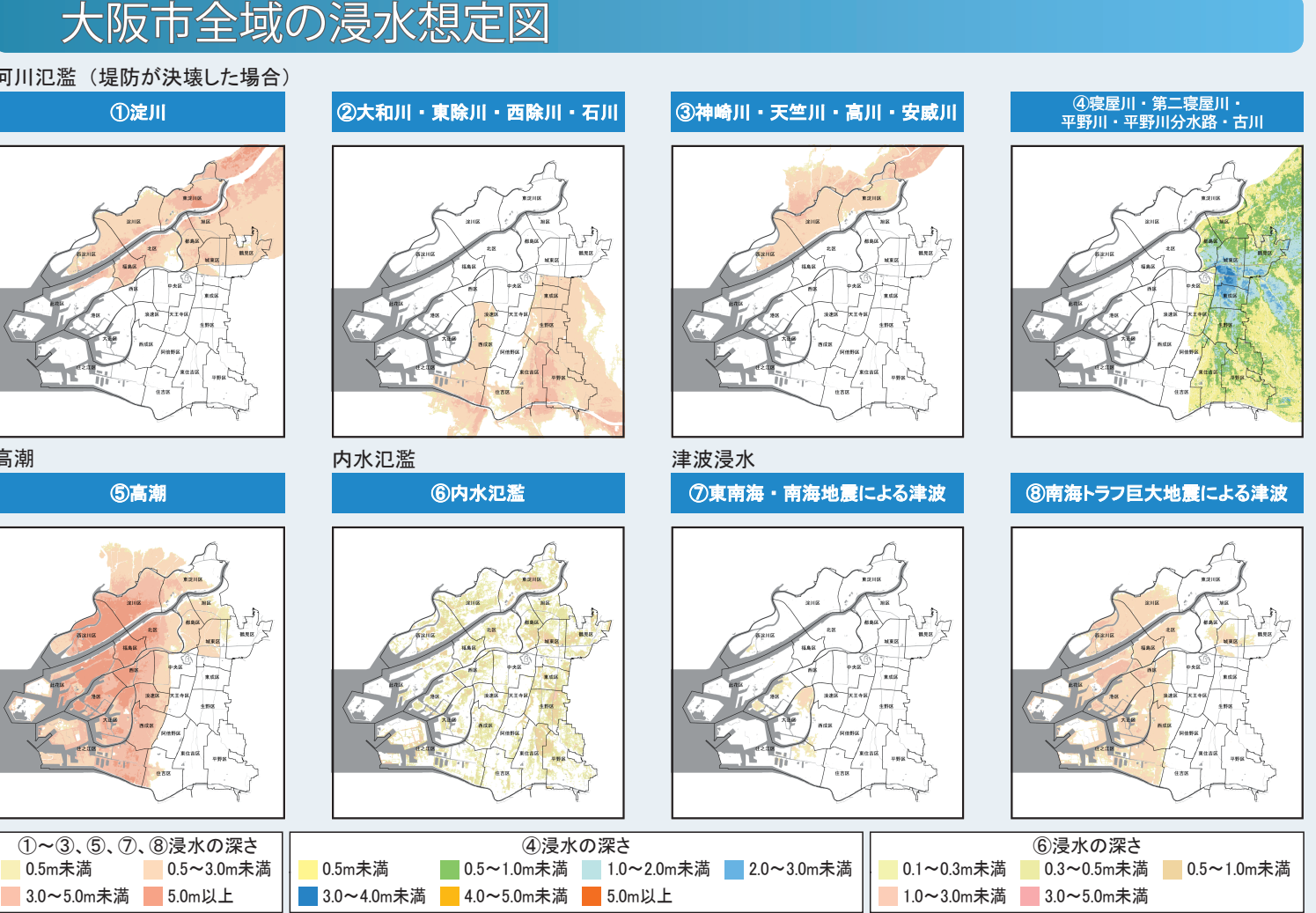




想定している雨や津波の計算条件

災害種別	浸水想定種別	想定条件	公表年月	問い合わせ先	電話番号
河川氾濫	① 淀川	24時間総雨量360mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000年程度)	平成29年6月	国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所	072-843-2861
	大和川	12時間総雨量316mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000年程度)	平成28年8月	国土交通省近畿地方整備局 大和川河川事務所	072-971-1381
	② 東淀川・西淀川	24時間総雨量904.1mm 1時間最大雨量102.5mm	令和元年11月	大阪府富田林土木事務所	0721-25-1131
	石川	24時間総雨量724mm 1時間最大雨量195.5mm	令和3年3月	大阪府西大坂治水事務所	06-6541-7771
高潮	③ 神崎川	24時間総雨量737mm 1時間最大雨量81.1mm	令和2年1月	大阪府西大坂治水事務所	06-6541-7771
	天竺川	24時間総雨量1,150mm 1時間最大雨量142.6mm	令和2年1月	大阪府池田土木事務所	072-752-4111
	高川	24時間総雨量1,150mm 1時間最大雨量145.4mm	令和2年1月	大阪府池田土木事務所 大阪府茨木土木事務所	072-752-4111 072-627-1121
	安威川	24時間総雨量776mm 1時間最大雨量189mm	令和2年3月	大阪府茨木土木事務所	072-627-1121
内水氾濫	④ 寝屋川・第二寝屋川・平野川 平野川分水路・古川	24時間総雨量683mm 1時間最大雨量138.1mm	平成31年3月	大阪府寝屋川水系改修工部局	06-6962-7661
	⑤ 高潮	中心気圧910hPa(室戸台風級)、最大旋風風速半径75km(伊勢湾台風級)、 移動速度73km/h、経路は室戸台風を想定	令和2年6月	大阪港湾局危機管理担当	0725-21-7246
津波	⑥ 内水氾濫	24時間総雨量549mm 1時間最大雨量147mm	令和3年3月	大阪市建設局下水道部調整課	06-6615-7594
	⑦ 東南海・南海地震津波	マグニチュード8.6程度の地震が発生し、防潮原(夜間、開放されているもの) などが閉まらなかった場合に津波(による浸水が起きた場合(満潮時を想定))	平成16年3月	大阪港港務計画課	06-6615-7782
	⑧ 南海トラフ巨大地震津波	マグニチュード9.1程度の地震が発生し、最大クラスの津波による浸水が起きた 場合(防潮堤の沈下や防潮施設の閉鎖状況を考慮)(満潮時を想定)	平成25年8月	大阪府危機管理室防災企画課	06-6944-6487

このパンフレットの作成者：大阪市危機管理室（TEL 06-6208-7384）
このパンフレットについては、大阪市危機管理室のホームページでもご覧になれます。
https://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/

情報伝達について

情報の受け取りかた

防災情報メール 市の防災や災害時に必要な情報を、登録した携帯電話やパソコンにメールで配信

事前登録が必要

緊急速報メール 緊急情報を緊急速報メールに対応した携帯電話に配信します

受け取れるか 設定が必要な場合もありますので、詳しくは携帯電話を事前に確認

情報の伝わりかた

避難の情報 水位・河川の情報 地震・津波の情報 気象(雨など)の情報

テレビ・ラジオ等 ホームページ おおさか防災ネット 緊急速報メール おおさか危機管理室 ツイッター 防災スピーカー 広報車等

市民のみなさん

災害情報伝達手段の多様化の取り組み

URL https://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/page/0000509398.html

情報の調べかた

- 防災スピーカーの放送が聞き取れなかった場合：防災行政無線テレホンサービス（06-6210-3899） 通話料がかかります。
- 災害時には、NHKテレビ放送の画面で、データ放送ボタンの「dボタン」を押すと、避難情報発生状況や避難所開設情報等が視聴できます。

緊急時のサイレンのパターン（防災スピーカー）

緊急事態の種類 サイレン（警報音）パターン

大津波警報 3秒吹鳴 2秒休止 3秒吹鳴 2秒休止 3秒吹鳴

津波警報 5秒吹鳴 6秒休止 5秒吹鳴 6秒休止 5秒吹鳴

警戒レベル5 20秒吹鳴 10秒休止 20秒吹鳴 10秒休止 20秒吹鳴

警戒レベル4 10秒吹鳴 10秒休止 10秒吹鳴 10秒休止 10秒吹鳴

緊急地震速報（震度5弱以上） 緊急地震速報のチャイム音

大阪府危機管理室 ホームページ

安否確認用の伝言サービス

災害用伝言ダイヤル171 災害時に伝言の録音や再生ができます。

171に電話する

伝言を残すには（録音方法） 1 自宅や自分・家族（被災地内）の電話番号を押す 伝言を残す

伝言を聞くには（確認方法） 2 連絡を取りたいかた（被災地内）の電話番号を押す 伝言を聞く

体験利用が可能な日 毎月1日、15日、（24時間） 1月1日～3日、（24時間） 防災ボランティア週間（1月15日前9時～21日午後5時） 防災週間（8月30日前9時～9月5日午後5時）

J-anpi 安否情報まとめて検索 各社の災害用伝言板等に登録された安否情報をまとめて検索することができます。

URL https://anpi.jp/

マイタイムラインってなに？

「マイタイムライン」とは、大雨や台風などの風水害にそなえて、一人ひとりの家族や生活の状況に合わせた避難行動、つまり「自分の逃げ方」を考えておくものです。「いつ」「誰が」「何をするのか」をスケジュールにまとめておくことで、いざという時にあわてずに行動をとる助けになります。

わが家の避難計画 大雨で河川氾濫が起きそうなとき

1 避難先 避難先を確認してメモしておきましょう。状況に応じた避難先として、避難先①～③のすべてを確認しましょう。

原則： ① 逃げ遅れたら・・・ ② 逃げ遅れたら・・・ ③ 逃げ遅れたら・・・

その場そのときで命を守る場所へ

■最寄りの水害時（津波）避難ビル（最寄りの浸水しない安全な場所）

■最寄りの避難所（最寄りの浸水しない安全な場所）

■最寄りの避難所（最寄りの浸水しない安全な場所）

■高い建物や高い場所（最寄りの浸水しない安全な場所）

2 避難を開始するまでに何をするかを考えましょう。

3 いつ避難を開始するかいつ何をするかを記入しましょう。

2で確認した行動を参考にタイミングを確認しましょう。

避難のタイミングを書き込みましょう。

情報が集 気象情報・避難情報を確認

避難の準備

非常持ち出し品・備蓄品を確認

必要なものの買い出し

家財等の2階等への移動開始

家の周りの点検

飛ばされそうものの片付け

窓の施錠の確認

携帯電話の充電

避難所の開設状況の確認

連絡・声かけ

近所への声かけ

避難の声かけをする

一緒に避難する名前

連絡先

避難の声かけをする

一緒に避難する名前

家族と連絡を取り合う（離れている場合）

避難の支援者に連絡（自力では避難が困難な場合）

その他

避難完了後 避難後は、家族や大切な人に無事避難したことを伝えましょう

連絡方法 家族の集合場所

避難情報が解除されるまでは、避難先からの外出や移動は極めて危険です。

記録的な台風が近づいているとき（高潮）

災害時の情報（警戒レベル）

みなさんの命を守る行動

避難はどうする？

浸水が浅いなど、自宅にとどまれる方

無理に外に出ない

風雨の状況によっては、家にとどまる方が安全です。自宅の浸水しない安全な場所に避難しましょう。

浸水が深いなど、自宅にとどめられない方

早い段階で避難

浸水の可能性のない場所へ早めに避難しましょう。親戚宅・知人宅・職場などへの避難も選択肢の1つです。

避難するときの注意点

浸水より高い場所へ

強風の中での運転や避難は危険

風が強さは避難行動に影響します。台風等で猛烈な風が吹いているときには、走行中のトラックが横転したりブロック塀や家々が倒壊を始めるおそれもあります。

津波が発生したとき

避難はどうする？

できるだけ早く、浸水被害のない場所へ

揺れや津波情報をきっかけにできるだけ早く、浸水被害のない、場所へ避難しましょう。

大きな揺れ、ゆっくりとした揺れを感じたら、海岸や河川から離れ、避難しよう

津波警報が出ているあいだは避難を続けよう

※ 河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報ができるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

津波が発生したとき

避難はどうする？

できるだけ早く、浸水被害のない場所へ

揺れや津波情報をきっかけにできるだけ早く、浸水被害のない、場所へ避難しましょう。

大きな揺れ、ゆっくりとした揺れを感じたら、海岸や河川から離れ、避難しよう

津波警報が出ているあいだは避難を続けよう

※ 河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報ができるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

津波情報

予想される津波の高さ	警報の名称	みなさんの対応
数値での発表（発表基準）	巨大地震の場合の表現	
10m 超		
10m 5m<高さ≤10m	巨大	大津波警報（特別警報）
5m 3m<高さ≤5m		●できるだけ早く、高いところへ
3m 1m<高さ≤3m	高い	津波警報
1m 20cm<高さ≤1m		●逃げ遅れたら、高い建物、高い場所へ駆け上がる
		津波注意報
		●津波情報に注意してください

大阪市 水害ハザードマップ

このハザードマップの使い方

1 お住まいの地域は、どのような災害の危険性があるか確認しましょう

大雨・台風時にはどの河川の氾濫により浸水するか、高潮の影響を受けやすいか、地震時には津波の影響を受けるおそれがあるかなど、ハザードマップで確認しましょう。

2 災害ごとに避難のタイミングと避難先を確認しましょう

災害の状況やあなたの置かれた状況によって、命を守るための避難行動は異なります。大雨・台風、津波の災害ごとに命を守るための避難行動（避難タイミングと避難先）を確認しましょう。

3 命を守るために、掲載している情報やマイタイムラインを活用し、日頃からの備えを確認しましょう

災害時には様々な情報が発信されます。いざというときにすぐ行動できるよう、掲載している情報や、書き込み式のマイタイムラインを活用し、日頃から備えておきましょう。

避難先・集合場所

災害の種類ごとに避難先・集合場所を確認し、記入しておきましょう。

大雨のとき 洪水 連絡先

台風の時 洪水・高潮 連絡先

津波 連絡先

災害時の連絡先

西淀川区役所	06-6478-9895	道路（十三工営所）	06-6306-1881
西淀川区保健福祉センター	06-6478-9882	電気（関西電力（伊電））	0800-777-3081
警察署	110	ガスもれ（大阪ガス）	0120-0-19424
消防署	119	電話の故障（NTT）	113
下水道（海老江管路管理センター）	06-6462-3919	ひかり電話・携帯電話からは	0120-444113
水道（お客さまセンター）	06-6458-1132		

大雨で河川氾濫が起きそうなとき

災害時の情報（警戒レベル）

みなさんの命を守る行動

避難するときの注意点

大雨の中や周辺が浸水してから外に出るのは危険です

浸水のおそれが高いときには、徒歩から屋内で待機しましょう。

原則歩いて避難

やむをえず車で避難が必要な方は、高齢者等避難など、より早い段階で避難を開始してください。

浸水した道路は通らない

水が濁って、足元が見えにくくなります。マンホールや排水溝などに転落して危険です。

マンホール 危険

※ 河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報ができるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

津波避難ビルについて

イメージ

大阪市では、河川氾濫や津波から一時的または緊急的に命を守るための施設として津波避難ビルの確保を進めています。

いざというときのために、最寄りの津波避難ビルを確認しましょう。

津波避難ビル Tsunami Evacuation Bldg. 海溝避難ビル/地下鉄 避難可能時間「24時間」

Web 171 (NTT) URL https://www.web171.jp

NTT docomo URL http://dengon.docomo.ne.jp

ソフトバンク / Y!mobile URL http://dengon.softbank.ne.jp

au (KDDI) URL http://dengon.esweb.ne.jp

J-anpi 安否情報まとめて検索 URL https://anpi.jp/

※ 災害用伝言板は、大きな災害が発生したときに提供が開始されます。サービスの詳細については、NTT 及び携帯電話会社各社の説明を参照してください。